



サクツと小山のグループリーダー、左から小林さん、甫坂さん、村田さん

女性の視点を生かして「スマティア」はコミュニティFM「おらじ」パロモーションチーム「S akutto OYAMA さん(36)。

「サクツと小山」が12月、子育て世代を

中心とした22人のメンバーで活動を開始した。チ

ーム内に「おやまづくり」ことを知らない人が多い

「起業家」「マスメディ

ア」「情報発信」の4グループを設け、勉強会

などを重ねながら来年度以降に実施していく具

体的な事業の構想・企画などを練っていく。

近年、若い女性の転出超過が続き、今後も人口減少による活力の低下

などが懸念される小山市。こうした状況を踏まえ

は、小山の魅力を発信するには女性ならではの発

想や視点を活用したプロモーション活動が重要

な効果が考え、チームのメンバーを一般公募

のメンバーを一般公募。まちづくりの携わり、様

々な情報発信などを展開している21、47歳までの

22人を選出した。

4グループのリーダーは、「おやまづくり」「情

報発信」が小山市まちな駅・思季彩館マネージャ

ーの小林千恵さん(40)、しさをアピールしたい。

「起業家」はおやまブラそれと人材の発掘、起

業を指す人に機会を与え「おとつぺ」代表の村

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。

田玲子さん(35)、「マク語る。



元気いっぱいのリーダーたち

田玲子さん(35)、「マク語る。

サクツと小山は今年度、

- 名称の由来
- ・市の花オモイガワザクラ
 - ・買い物、お出かけもサクツとできるまち
 - ・サクツと迅速に意思決定するチーム
 - ・ちょっと都会のおしゃれ感
 - ・Smile Kicky Team OYAMA

甫坂さんも、市民が郷土にあまり興味を示さないことが気がかりという。「足利のフラワーパーク」が世界的に有名になったのは、ニューヨークタイムズに取り上げられたのがきっかけ。小山もスマティアを活用しブランド化を図るべきです。給食費をずっと値上げしてない小山は子育て中の親にはとてもありがたいまち。こういうことを全国にアピールし、子育てや住みよきランキングで1位になれば、ネームバリューは格段にアップします」。

月1回程度の勉強会や地域に根づいた事業を展開する起業家の講演、SNSを活用した活動などを行っていく。